



目次 contents

02

はじめに

はじめに

事例紹介

03

株式会社札幌ロードメイク

05

杉原建設株式会社

07

北土建設株式会社

09

ムトウ建設工業株式会社

11

北海道コカ・コーラボトリング株式会社

13

SOMPOひまわり生命株式会社北海道統括部

制度紹介

15

さっぽろまちづくりスマイル企業
認定制度について

18

認定企業一覧



はじめに



近年、少子高齢化や核家族化など社会情勢が大きく変化しており、札幌市の人口も今後、減少に転じることが見込まれています。こうした時代を迎えるにあたり、誰もが安心して暮らしていける街を実現するためには、企業の方々の地域社会への積極的な働きかけがとても重要となります。

札幌市では、こうした取組を支援するため、企業の地域に根差したまちづくり活動に積極的に取り組む企業を「さっぽろまちづくりスマイル企業」(以下、「スマイル企業」)として認定する「さっぽろまちづくりスマイル企業認定制度」を令和元年7月1日からスタートいたしました。

スマイル企業の活動を広く知っていただくことで、スマイル企業と地域のみなさんとのつながりが深まるとともに、より多くの企業の方々が地域の一員として札幌市のまちづくりへ参加いただくきっかけとなれば幸いです。

さっぽろまちづくりスマイル企業とは？

札幌市のまちづくり活動に積極的に取り組む企業を認定します！！

札幌市では、一年度間に一定基準の地域のまちづくり活動に積極的にご協力いただいている企業を「さっぽろまちづくりスマイル企業」として認定しています(認定基準等の制度の概要はP.15、P.16参照)。

本制度により、スマイル企業として認定されますと、認定企業のまちづくり活動を札幌市公式ホームページで周知するほか、認定証や企業のPRに利用可能な認定マークの付与、活動実績に応じた各種表彰を行っています。

まずは、地域と顔の見える関係づくりから始めませんか？



認定マーク



Case 01

建設業

株式会社札幌ロードメイク

代表取締役 庄子直美

住所 〒002-8054
札幌市北区篠路町拓北6番125

設立 2003年3月

ホームページ <http://www.sapporo-road-make.jp/>

従業員 12人

1 まちづくり活動をはじめたきっかけは？

道路に石や建築の廃材が散らかっていること、埃などで汚れているのが気になったことが始まりです。最初は大きなゴミを撤去する程度でしたが、あまりにも汚いので高圧洗浄機で弊社前の道路を水洗いするようになりました。ゴミは年中拾っていますが、春先が一番汚れが目立ちます。以前ガラスの付いたアルミサッシが散乱していることが大変危険でした。そういった大きなものは区役所に連絡を入れて片付けています。大きな落下物は事故の危険性もありますし、きれいにするだけで少しでも気持ち良く通行してもらいたいという思いで続けています。清掃以外では交通安全の注意喚起を兼ねて旗を立てたり、冬に身体の不自由な方の軒先の除雪を手伝ったりもしています。



左から 代表取締役 庄子直美氏、取締役専務 庄子由美氏、取締役常務 庄子欣弥氏

2 まちづくり活動で特に印象に残っている活動は？

北区災害防止協会の活動の一環で数年前から従業員数名と参加している「花いっぱい運動」です。もともと妻が花好きだったこともあり、殺風景な通りをきれいにしようと役所に働きかけ、会社の前に花を植える活動をしていました。大がかりなものではありませんが、やはり花が咲いていると気持ちが良いものです。従業員も水やりなどを協力してくれています。汚い場所よりきれいな場所に居たいのは皆同じですが、そういう環境をつくる努力を知ることが大切です。そういった意味で「花いっぱい運動」はとても有意義だと思います。子どもの頃からこういった活動をすることで、心優しい人間が育つのではないかと感じています。



J R新琴似駅前に花植え

3 印象に残った理由や工夫した点は？

「花いっぱい運動」に参加することで、環境をきれいにする事の大切さを学ぶことができます。皆と一緒にやれば楽しいですし、参加した子どもたちの笑顔に希望が持てるような気がしました。

工夫した点は仕事との調整です。本業の時間を割いてまではできないので、「空いているときに出来る範囲で」ということを意識しています。小さな会社ですから大したことはできません。今やっているのは、石を拾ってみたり除雪をしたりと…何も難しいことではありません。仕事の合間に無理なく活動して、皆さんが笑ってくれるなら嬉しいですね。



河川清掃活動の様子



除雪活動の様子

4 まちづくり活動を行った感想は？

清掃や「花いっぱい運動」に参加することで環境づくりの大切さ、大変さがわかり、物を大事に扱ってくれる従業員が増えたように思います。ただこういった活動は、やってからすぐに目に見えた成果が出るということではなく、地道に積み重ねて後から効いてくるものだと思っています。大きな成果にならなくてもゴミがひとつ落ちていれば拾うとか、当たり前のことを普通にできるように。私も含めて、皆さんがそういう気持ちになってくれれば良いと思っています。

従業員たちはまちづくり活動を生活の一環としてとらえていて、特に不満が出ることもなく取り組んでくれています。私たちの仕事は不規則で、空き時間もさまざまです。そんなときに活動を無理強いしないことも大切です。肩ひじを張って構えると疲れや不満が出ますし、無理に押し付けるものでもありません。

5 これから活動に取り組む企業へアドバイスや今後の活動について

小さなことでも自分たちにできることを継続してやることです。私たちも大したことはできませんが、微力でもより良く、よりきれいにする努力はしたいと思っています。何かと嫌なニュースが多いご時世ですが、暗い表情をしているより笑っていたいですよね。皆さんの笑顔につながる活動なら、やっている方としてもやりがいがあります。花に水をやるのも道路を水で洗うのも気持ち良いし楽しいものです。

今後の活動については、地域のみなさんの要望を聞いていきたいです。声をかけてもらえれば出来ることはやるし、出来ないことは無理しないというスタンスでお手伝いしていきたいと思っています。



交通安全運動の様子



Case 02

建設業



杉原建設株式会社

代表取締役 八木 一男

住所 〒065-0043
札幌市東区苗穂町10丁目2番1号

設立 1952年9月

ホームページ <http://www.sugihara647.co.jp/wp/>

従業員 48人



「全員で協力することが大切」と話す営業課長 長谷部氏

1 まちづくり活動をはじめたきっかけは？

2009年のISO14001（環境規格）取得から、具体的な目標を持ってまちづくり活動を行うようになりました。1952年の創業以来、インフラ整備を中心に社会貢献を実践してきましたが、地域に生きる建設業として地域（特に東区）にしっかり根ざすということが大切だという思いがあります。会社や仕事は地域の皆様やまちの上で成り立っているという意識を職員全員が持ち、会社全体で地域に貢献しようという雰囲気があります。

また、他にはない独自性のあるまちづくり活動を行うことも、「やらされた感」を感じず、プライドを持ってまちづくり活動を行っている理由の一つです。

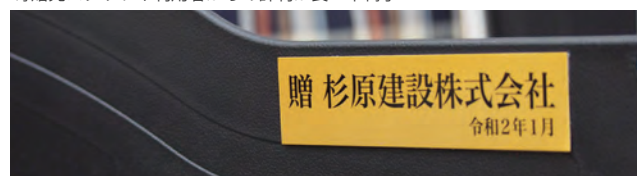
2 まちづくり活動で特に印象に残っている活動は？

本社や各作業所から発生するリサイクル資源物（新聞紙、雑誌、アルミ缶、スチール缶、ペットボトルなど）を集めポイント化し、貯まったポイントで車椅子を寄贈するという、(株)マテックのリサイクルポイントシステム[※]を利用した活動です。2010年7月から毎年継続して市内の病院や区役所に寄贈を行っています。

これは(株)マテックのラジオCMを聞いた職員からの提案で始めた活動です。金銭的なもので何かを買って寄付するだけでなく、リサイクルから生まれたものが社会貢献にも環境活動にもなる。特に建設業界で仕事をさせてもらっていると、環境への負荷の軽減は大きな課題の一つです。すべての方が幸せになれるような活動であるということで、社内でも快く受け入れられました。



寄贈先スタッフや利用者からの評判が良い車椅子



リサイクルシステムを利用した20台目の車椅子（2019年12月時点）



ソーラー式電波時計寄贈の様子



寄贈したソーラー式電波時計を自ら東区の公園に設置している様子

3 印象に残った理由や工夫した点は？

リサイクル制度を活用した車いすの寄贈ということで、すべてを幸せにする活動ということが印象に残る理由です。ただ、弊社では「資源物をなるべく出さない」リデュースにも取り組んでいるため、ポイントを増やすことが年々難しくなるという問題が出てきました。そこで、業務中に発生した資源物以外に、従業員の家庭で不要になった電子機器、新聞紙、ダンボール等を従業員自ら持ち込んでもらい、ポイント増へ解決を図っています。

また、収集にはペットボトルや缶類は洗ってから集めるというひと手間がかかりますが、各自が作業所や家庭で洗ってくれています。すべて全職員の協力があってこそこの活動です。目標を持って、社長をはじめ全社で活動を行っているという思いを全職員が共有できているのだと思います。

4 まちづくり活動を行った感想は？

寄贈している車椅子は、通常の子椅子に比べ座椅子の幅が広く、軽量で扱いやすいため、病棟で使用している患者さんだけでなく医療スタッフの方々にも喜んで頂いているようです。また、寄贈するという物理的な効果の他に、寄付先の方にもこの活動を知ってもらうことで、皆のまちづくりや環境に対する意識が高まっていることが良かった点です。

更には、リサイクルポイントシステムの利用や、東区内の公園に設置するソーラー電波時計の寄贈などの独自性を出した活動を行うことは、社長の方針でもあります。他にはないことを先行してやっていくことで、職員のモチベーションを高めることに繋がっています。

杉原建設の社訓の「結（ゆい）」の精神は、職員がひとつになり、結び付き、まとまるという意味があります。この精神の元、会社全体でひとつのことをしっかりやろう。自分のことだけでなく、他人のために貢献していくことが大事だという考えが徹底されています。

5 これから活動に取り組む企業へアドバイスや今後の活動について

とにかく全職員が協力して継続して活動していくことが大切だと考えています。活動を継続することによって、職員だけでなくその活動にかかわる全ての方々のまちづくり活動の意識も向上します。

今後も車椅子やソーラー電波時計に限らず、皆様に喜ばれる物の寄贈を考えていきたいです。また、地域と連携しながら、新しい活動にも取り組んで参りたいと思っています。



左から 長谷部氏 専務取締役 川口氏 総務部長 高橋氏

※リサイクルポイントシステム

株式会社マテックが行っている、資源物の重量に応じてリサイクルポイントが貯まり、貯まったポイントが、環境に配慮された様々な商品と交換することができるシステム。交換した商品は、病院や福祉施設などに寄付されるなど社会貢献活動としても利用されている。【お問い合わせ】株式会社マテック（代表番号）☎0155-37-5511

マテックグループ リサイクルポイント 検索



Case 03

建設業

北土建設株式会社

代表取締役社長 砂田 英俊

住所 〒064-0810
札幌市中央区南 10 条西 14 丁目
1 番 18 号

設立 1954 年 2 月

ホームページ <http://www.hokudo-c.co.jp>

従業員 62 人

1 まちづくり活動をはじめたきっかけは？

1954 年に札幌市で創業以来、企業理念として「会社の繁栄を通じ社会に貢献する」というスローガンを掲げています。私たちが仕事を進められるのは地域の皆さまあってのことですから、業務に余裕のある範囲内で社会に何らかの還元やお手伝いをしたいという思いがあります。そこで地域社会の一員として何か役立てないかと考え、まちづくり活動を始めました。まずは会社周辺の地域に貢献できる活動として、道路清掃を開始しました。



左から営業部 鳴海氏 総務部 薄田氏

2 まちづくり活動で特に印象に残っている活動は？

特に印象に残っているのは道路アダプト清掃活動と福祉除雪地域協力員[※]としての福祉除雪です。清掃活動は会社周辺のエリアで、4 月から雪の降る前まで月に 1 回、子会社の社員と合同で行っています。ゴミを拾った後の爽快感は心地いいですし、特に大変な作業だとは思っていません。弊社だけではなく町内の方もボランティアでやっているようで、当初からきれいなエリアでしたが年々ゴミの量が減っています。

福祉除雪地域協力員としては、主に単身高齢者の方の世帯を受け持っており、道路除雪が行われた日の昼までに除雪しています。



道路アダプト清掃活動の様子



里塚 21 号線災害復旧、復興イベント協力の様子

3 印象に残った理由や工夫した点は？

まちづくりの環境美化活動として 2008 年に参加してから現在まで、長く続けていることが理由です。また、清掃活動や除雪をしているときに地域の方から労いの声をかけられると「やっていたよかったな」と励みになります。

清掃は屋外での活動で天候の影響を受けるので、参加者確保のための日程調整には気を付けています。除雪は作業のタイミングが降雪量によって違いますし、年によってはドカ雪で苦労することもあります。

また、現場独自でも清掃活動やイベントの協力を常々行っています。これは社員が積極的に地域の方と交流して始めているものです。

4 まちづくり活動を行った感想は？

良かった点は、地域の方との交流が生まれることです。特に、清掃やイベントに参加して直接お話をすることは貴重です。地域で仕事をする上で、スムーズに住民の方と話ができることは非常に大切です。現場では、通行止めや機械を使った音、埃が出る場合もあり、地域の方のご理解が欠かせません。日頃から地域住民の方とコミュニケーションを取ることで事前に対策を講じられます。やはりお互いに打ち解けているのとならないのでは、話の進みやすさが格段に違いますね。

5 これから活動に取り組む企業へアドバイスや今後の活動について

既に各企業さんもやっていることですが、できる範囲内で無理なく、業務を生かして身近なところから取り組みたいと思います。例えば建設業で重機を持っている会社さんなら、それを利用して学校や道路などのメンテナンスをするといったような活動です。本業以外から始めるのは大変だと思うので、会社の仕事に直結した社会貢献活動として地域のお手伝いができるといいと思います。また、活動は会社の規模にもよります。大手さんのように人数がいればできることや、逆に少人数だからこそ密着してできることもあるはずなので、無理せず進められるのが一番です。

今後の活動については、各現場周辺の地域に協力することを継続したいです。弊社は土木関係の会社なので、そういった業務にリンクしたお手伝いを中心にしています。本社はもちろん現場レベルでも機会があれば積極的に参加し、またこちらからも声かけをしていきたいと思っています。特に清掃活動と除雪は本社周辺で最も地域に密着した活動なので、力を入れて継続していきたいです。



定山溪かっぱウォークイベント参加の様子

※福祉除雪地域協力員

各区社会福祉協議会に「地域協力員」として申込を行い、高齢の方や障がいのある方など、自力での除雪が困難な方の自宅に訪問し、間口部分や玄関先までの通路部分を除雪する。個人・団体・企業など多くの方が地域協力員として参加している。
【お問い合わせ】各区社会福祉協議会まで

札幌市 福祉除雪地域協力員

検索



Case 04

建設業

ムトウ建設工業株式会社

代表取締役 武藤 征一

住所 〒003-0024
札幌市白石区本郷通 13 丁目南
4 番 27 号 ムトウビル 3F

設立 1973 年 12 月

ホームページ <https://mutoh-kk.com/>

従業員 16 人



南郷 13 清掃隊の清掃活動の様子

3 印象に残った理由や工夫した点は？

南郷 13 清掃隊を挙げたのは、身近なこととして弊社が取り組んでいることだからです。普段自分たちが使っている道路が汚れているとやはり気になるものですね。

また、白石区ふるさと会や南郷 13 清掃隊のように世代も職業もさまざまな人達と活動する上では、お互いを知ることが重要だと感じています。「人を知る」ということは単純に顔や名前を知るといった意味だけでなく、頼み頼まれる関係を築くという意味も含んでおり、お互いを知っていないと何事も円滑に進みません。これはまちづくり活動に限らずどんな事業にも通じる必要不可欠な部分かもしれません。

4 まちづくり活動を行った感想は？

以前に、会社としての寄付に加え、他企業や個人からも寄付を募って白石郷土館の設置に取り組んだことがありましたが、地域の歴史に触れることで愛着を持って取り組める点も、まちづくり活動の魅力のひとつだと感じました。

まちづくりをする中で特に影響を受けたのは、「有償ではなく無償でボランティア活動をする」という考えです。教えてくれたのは特別な人たちではなく、弊社と同じような普通の中小企業の親父さんたちです。大企業のように大きなことはできませんが、志を持ってやるべきことを平然となすという心構えに感動し、先輩方の思いを引き継ぐ意味も込めて活動しています。

また、これまでは活動に対する評価を受けることは考えずにやってきましたが、会社としてスマイル企業の認定を受けたことは励みになりました。申請したいという声社内からあがったことも、長年やってきた活動が良いものだとして内部に理解されていたのかなと感じ、嬉しかったですね。

5 これから活動に取り組む企業へアドバイスや今後の活動について

弊社のように他企業や団体と協力してまちづくりを行うときは、やはり透明性・公平性・合理性が大切です。協同して活動するためには、特定のメンバーに負担が偏ることがあってはなりません。無理のないかたちで気持ちよく参加してもらえるよう、常に情報を共有し公正に進めていく必要があります。そうしないと、どんなに素晴らしい活動でも綻びが出てしまいます。

今後も、主に白石区のまちづくりに根ざした活動を継続していきます。これまでさまざまな取組ができたのは地域の皆さんの理解と助けがあったからです。これからも人とのつながりを大切にしながら、活動を行ってまいります。



左から 藤野原氏 代表取締役 武藤氏 専務 戸田氏

1 まちづくり活動をはじめたきっかけは？

元々この白石の地で仕事をしてきて、地域のイベントへの参加や様々な寄付、清掃活動、交通安全運動など、当たり前のようにまちづくり活動をしてきました。私自身は13年前から白石区ふるさと会（白石区内で活動するまちづくり団体）の会長を務め、弊社も会員として活動しておりますが、その中で町内会連合会の方々のお話をする機会が多くあります。ふるさと会などのまちづくりを行う仲間と連携して、地域の要望に沿った活動を行っています。弊社のまちづくり活動は、常に白石区の地域の皆さんとつながって歩んできた流れがあります。



1988年の感謝状

2 まちづくり活動で特に印象に残っている活動は？

白石区ふるさと会として多くのまちづくりイベントに参加し地域の方々を知ることができたことや、企業連合として南郷13清掃隊を結成し美化活動をしていることです。南郷13清掃隊として白石区まち美化プログラム（アダプト・プログラム[※]）に参加しており、会社の前の南郷通に面した人たちと共に、冬場を除いて毎月清掃を実施しています。社員も長く参加しているので、自社の敷地周辺だけでなく全域の清掃をしっかり行う姿勢が身についています。

定期的に行くと、面白いことにゴミの量が減っていきます。ゴミを捨てることはその場の問題解決だけでなく、次のゴミが捨てられることへの抑止力にもなります。社員からは「地域が喜んでくれる活動なのでやりがいがある」という感想もあり、月に1回の清掃活動以外のものでも生活の一部として美化活動に取り組んでくれています。



白石区複合庁舎前での交通安全運動の様子

※アダプト・プログラム

道路清掃などの環境美化活動を希望する企業・団体と区役所が覚書を交わして、協働で地域のまちづくりに取り組む制度。札幌市では、中央・北・東・白石・豊平・清田・西区で実施。登録要件や手続き方法は区により異なるため各区のホームページを参照。【お問い合わせ】アダプト・プログラムを実施している区の地域振興課まで

札幌市 アダプト

検索



Case 05

製造業

北海道コカ・コーラ ボトリング株式会社

代表取締役社長 佐々木 康行

住所 〒004-8588
札幌市清田区清田 1条1丁目2番1号

設立 1963年1月

ホームページ <https://www.hokkaido.ccbc.co.jp/>

従業員 418人（グループ1,310人）

1 まちづくり活動をはじめたきっかけは？

1963年の創業間もない頃から、「北の大地とともに」を合言葉に、地域の課題解決に向けた取組を行っていました。弊社は北海道生まれ、北海道の皆さまに育てられてきた、どさんこ企業です。

どさんこ企業である私たちが果たすべき役割は、事業活動を通じて、地域課題解決のお役に立てる活動を継続することだと考えています。

現在、札幌市との協定に基づき、それぞれの地域を盛り上げたり、課題の解決に取り組むため、各区との連携を図っています。



広報・CSR推進課長 河西氏

2 まちづくり活動で特に印象に残っている活動は？

弊社札幌工場の水源である白旗山では、札幌市との協定にある「人と環境にやさしいまちづくり」として森づくりを進めています。清涼飲料メーカーとして、節水や排水などと合わせて水源涵養に取り組むとともに、子どもたちを対象に「森に学ぼうプロジェクト」などの環境教育も行っています。また、地域の課題解決の取組として、清田区や西岡地区の大学・中学校と共同して「ボランティア除雪」にも取り組んでいます。

新たな取組としては、「子ども未来文庫」応援自動販売機^{※2}の展開を進めています。自動販売機の設置先様が、売上げの一部を寄付していただくことで絵本を購入し、札幌市の絵本基金「子ども未来文庫」^{※1}へ寄贈する取組です。また、Coke ON 自販機のアプリ『Coke ON ウォーク』を活用した健康増進の取組も行っています。清田区のイベントに参加した際、範囲内を歩くとドリンクチケットが貰えるキャンペーンを行いました。



白旗山「森に学ぼうプロジェクト」の様子

3 印象に残った理由や工夫した点は？

自動販売機を活用した活動は弊社ならではのものです。「子ども未来文庫」応援自動販売機はリリースしたばかりなので、これから設置先が増えていくように働きかけていきたいです。

ボランティア除雪に関しては、除雪そのものとしての取組とともに、参加した子どもたちに助け合いやまちづくりの大切さを知ってもらいたいという願いがあります。子どもたちが活動に参加することで、彼らが大人に成長したとき、地域がより良いものとなると信じています。

白旗山の森づくりも、次世代に豊かな自然や北海道の魅力を繋いでいきたいという強い思いを持って活動を続けています。



「子ども未来文庫」応援自動販売機



清田地区での雪かきの様子

4 まちづくり活動を行った感想は？

活動全体を通じて、地域や連携する企業・団体の皆さんとの交流など、得るものは非常に大きいです。自分たちだけで出来る範囲は限られているので、同じような志を持った仲間と良好な関係を構築し一緒に取り組んでいくことが大切です。

まちづくり活動を行うことで、最終的には元気のある北海道、札幌市を目指しています。

清掃などのボランティア活動はもちろん、自販機を利用した取組のように、本業を通じた活動にも力を入れていきたいです。

5 これから活動に取り組む企業へアドバイスや今後の活動について

まずは一歩を踏み出すことです。いきなり何かするのはなく、例えば市や既に活動している企業や団体に話を聞いてみるというスタートでも良いと思います。それによっていろいろなきっかけが回り始め、思い描くような活動に繋がっていくのではないかと思います。もちろん声をかけていただく先は弊社でも構いません。同じ思いを持てる仲間として、一緒に活動できると嬉しいです。

今後については、地域が元気でいてくれるために、そしてこの魅力ある北海道を次世代に残すために、継続して活動に取り組んでいきます。また、コカ・コーラは東京2020オリンピックのワールドワイドパートナーにもなっているので、札幌市でオリンピックに関連したまちづくりにも挑戦していきたいです。



白旗山「森に学ぼうプロジェクト」の集合写真



清田地区での雪かきの集合写真

※1 絵本基金「子ども未来文庫」

企業・団体・市民の皆さまから、札幌市所管の子育て支援施設や市立保育所などに寄贈する就学前児童向け絵本（新品）を募集。寄贈された絵本は、子どもたちへの読み聞かせや来館した親子の閲覧に利用される。
【お問い合わせ】札幌市子ども未来局子育て支援部子育て支援総合センター（☎011-208-7961）

子ども未来文庫 検索

※2 「子ども未来文庫」
応援自動販売機

北海道コカ・コーラボトリング㈱が運用する寄付型自動販売機で、売上金の一部が同社を通して「子ども未来文庫」に絵本として寄贈される。設置の相談は北海道コカ・コーラボトリング㈱まで。
【お問い合わせ】北海道コカ・コーラボトリング㈱（広報・CSR推進部）（☎011-888-2091）



Case 06
—— 生命保険業 ——

**SOMPO ひまわり生命保険
株式会社北海道統括部**

北海道統括部長 荒木 真悟

住所 〒060-0001
札幌市中央区北1条西6条2丁目
損保ジャパン日本興亜札幌ビル4階

設立 1981年7月

ホームページ <https://www.himawari-life.co.jp/>

従業員 78人



北海道統括部長 荒木氏

1 まちづくり活動をはじめたきっかけは？

弊社は2016年からお客さまが健康になることを応援する「健康応援企業」への変革を目指し、健康維持・増進のための多様なサービスを提供しています。2017年に札幌市が行った健康に関する実証実験に参画しました。これは、会社で運用しているリンククロスというブランドのウォーキングアプリ『リンククロス アルク』で歩数を集計し、市民の皆さんの健康に役立てようという試みでした。それから、培ってきたノウハウが健康増進をはじめとした地域に根ざしたまちづくり・課題解決の支援に貢献できるのではないかと考え、活動をスタートしました。

2 まちづくり活動で特に印象に残っている活動は？

まちづくりや健康に関するさまざまなイベントに参加したことです。中でも「けんこうフェスタ 2019 in ちゅうおう」という催しは、特に印象に残っています。弊社で扱っている血管年齢測定や、認知症予防の冊子とVR（バーチャルリアリティ）を使った啓発活動などを実施し、いずれもたくさんの方にご参加いただきました。VRは認知症の方が普段どういう気持ちでいるか体験するもので、とても反響がありましたね。認知症は深刻な社会問題になっているので、弊社では、全社員が認知症サポーター養成講座*を受講しています。実際に会場では認知症に対する不安を持つ方が多く、講座で学んだ知識を生かしてお話することができました。また、生命保険業ならではの知識も生かし、認知症の予防や進行を遅らせる啓発活動も行うことができました。



けんこうフェスタ 2019 in ちゅうおうの様子



ウォーキングアプリ『リンククロス アルク』



中央区監修コース

清田区監修コース

3 印象に残った理由や工夫した点は？

「けんこうフェスタ 2019 in ちゅうおう」は弊社がまちづくり活動として本格的に参加した初めてのイベントでしたので、特に印象深いです。血管年齢測定器の体験コーナーでは、予想以上にたくさんの方に大好評をいただき、市民の皆さんの健康に対する意識の高さをうかがい知ることができました。

また、健康応援企業として「地域の方に健康になってもらう」という目標を実現するためには、弊社が健康をサポートする活動を行っていることを知っていただく必要があります。その試みのひとつとして、アプリの『リンククロス アルク』に、市の協力を得て各区のお散歩コースを登録しています。札幌市民はもちろん全国の幅広い層に利用していただき、健康とまちづくりの両面に役立てたいと思っています。

4 まちづくり活動を行った感想は？

地域の方と直接触れ合うことで、まちづくり活動に貢献しているという実感を持つことができ、社員の社会貢献に対する意識を向上することができました。弊社は代理店さんにサービスを販売していただいているので、社員が直接お客さまと触れ合う機会が多くはありません。イベントに参加することで、弊社のブースに足を運んでくださった方の生の声を聞くことができたのは、大きな収穫でした。

SOMPOホールディングスグループには「すべてお客さまの視点で価値判断を行う」という経営理念があります。健康分野での活動に加えて、砂箱の設置や雪かきボランティアなどの幅広い分野での活動を通じて得た貴重な感想や、健康に対する考えを大切に、サービスの向上につなげていきたいです。

5 これから活動に取り組む企業へアドバイスや今後の活動について

地域と一緒にやっていくという姿勢を強く持つことが大事です。地域の健康のために出来ることはないかと真剣に考えれば、必然的に地域との提携が見えてくるのではないかと思います。

今後も、やはり地域の人々の健康に直接つながることを行っていきます。例えば認知症であったら、軽度認知障害という状態で早期に気づき、治療することによって、認知症に進行するのを遅らせたり、元の状態に戻したりすることができます。こういった未病などの予防の医療という面でも市民の健康に貢献していきたいです。また、社員もお客さまと直接対話をさせていただく中で、いろいろな気づきを得ているようです。そこから生まれたアイデアや思いを形にしていけることも、今後考えていきたいと思っています。



NoMaps(イベント)の様子

* 認知症サポーター養成講座

認知症について正しく理解し、認知症の方やその家族を見守り、支援する応援者を養成する講座。認知症の基礎知識や認知症の人への接し方などを習得する内容で、10名以上の企業・団体には無料で講師を派遣（会場のみご用意ください）。【お問い合わせ】札幌市保健福祉局高齢保健福祉部介護保険課 ☎011-211-2547

さっぽろまちづくりスマイル企業認定制度について



対象となる企業は？

以下の条件を満たす企業又は事業所が対象です。

- (1) 営利を目的とした企業又は当該企業を構成員とする営利を目的とした任意団体、協同組合。
- (2) 札幌市内に所在する企業又は事業所（本社が札幌市になくても可）。
※本社（支社）もしくは事業所単位のどちらかでお申込みください。（両方の申込みはできません）
- (3) 札幌市内で継続して1年以上の事業の実績があること。
- (4) 市税、法人税並びに消費税及び地方消費税を滞納していないこと。

次に該当する企業又は事業者は、登録の対象となりません

- 法令などに抵触する恐れのあるもの。 ●公序良俗に反する恐れのあるもの。 ●政治性、宗教性があるもの。
- 民事再生法及び会社更生法による再生または更正の手続き中のもの。
- 事業に関して法令に違反し、国又は地方公共団体から行政処分を受け、当該処分が解除されていない企業。
- 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条2号に規定する暴力団又は札幌市暴力団の排除の推進に関する条例（平成25年条例第6号）第7条第1項に規定する暴力団関係事業者。
- 本市が登録しないことが適切と認めるもの。

どのくらい活動したら認定になるの？



従業員数（パート・アルバイト含む）によって認定となる基準が異なります。

従業員数	認定基準	必須条件
100人以上	年間7活動以上	区役所や町内会等の地域の団体と連携した活動については、寄付・協賛以外の活動に2つ以上ご参加ください。
100人未満	年間5活動以上	

※従業員数は、申込みいただいた単位（本社（支社）もしくは事業所）における札幌市内の人数が適用になります。
※認定の基準は上記のとおりですが、検討委員会にて活動内容を総合的に判断し、認定の可否を決定します。



認定を受けるメリットは？

- 1 認定証・認定マークを付与します。（認定バッジもご購入いただけます）
- 2 札幌市ホームページ等により認定企業として活動を広報します。
- 3 まちづくり活動に特に積極的に取り組んでおり、その功績が顕著で他の模範と認められる企業には表彰を行います。表彰を受けた企業へは「ゴールド企業」「シルバー企業」として認定ランクを付与します。

対象となる活動とは？



営利を主な目的としない企業の公益的な活動のうち、地域のまちづくりに関する活動が対象です。

- 1 札幌市が実施する制度や取組、イベントへの連携・協力・寄付・協賛。
- 2 町内会や地域の実行委員会、札幌市が中心となっている組織委員会等が実施する取組やイベントへの連携・協力・寄付・協賛。
- 3 上記1、2以外の企業が独自に取り組む活動については、営利と関係せず地域に直接貢献したと社会的に認められる活動。
（札幌市内で行なわれ、札幌市民の参加・利用実績がある活動が対象です）

項目	活動例
①地域コミュニティ	地域コミュニティや地域のまちづくり活動への積極参加やイベント等への寄付・協賛、地域活動を行う場の提供、福祉除雪等の除雪ボランティア等
②防犯・防災・安全	防犯活動、消費者トラブルの未然防止に関する活動、交通安全運動、冬の砂まき・消火栓除雪、消防や防災に関する活動、これらの分野にかかるイベント等への協力・寄付・協賛等
③環境	ゴミ拾い、植花・維持管理、エコ活動、環境に関するイベント等への協力・寄付・協賛等
④子ども・子育て	子育て支援に関する活動、職場体験受入、学校へ講師派遣、虐待防止に関する活動、子ども・子育てに関するイベント等への協力・寄付・協賛等
⑤健康・福祉	高齢者や障がい者に関する見守りや社会福祉に関する活動、健康増進・食育に関する取組、これらの分野にかかるイベントやセミナーへの協力・寄付・協賛等
⑥産業・文化・活力	スポーツ・文化の振興、シティプロモート、産業振興に関する活動、ワークライフバランスや男女共同参画等に関する活動、これらの分野にかかるイベント等への協力・寄付・協賛等
⑦広報協力	パンフレット配架やポスター掲示等の広報協力
⑧その他	①～⑦以外に地域に貢献したと社会的に認められる社会貢献活動

具体的な活動例についてはさっぽろまちづくりスマイル企業認定制度のホームページをご覧ください。

- ★札幌市が実施する制度や取組のうち、助成金の交付や企業の採用に関する取組など、企業の本来の活動を支援するための制度・取組への連携・協力は、本制度で認定する活動の対象外です。
- ★札幌市で実施している制度・取組等は札幌市ホームページでご確認いただき、参加・登録を希望する場合は直接制度担当へお申込みください。
- ★区役所や町内会等の地域の団体と連携した活動について相談したい場合は、活動を希望する地域の地域振興課もしくはまちづくりセンターへご相談ください。（希望する内容や地域の状況等によりご希望に沿えない場合もあります）



表彰制度について

札幌市のまちづくり活動に特に積極的に取り組んでおり、その功績が顕著で他の模範と認められる企業に対して表彰を行います（希望企業のみ）。
表彰については、活動の内容や回数等を基に検討委員会により決定します。

表彰	認定ランク	1年間に実施する活動の目安		実施期間
		従業員数100人以上	従業員数100人未満	
市長表彰	ゴールド企業	年間60活動程度	年間40活動程度	3年以上継続
	シルバー企業	年間30活動程度	年間20活動程度	
局長表彰	—	年間15活動程度	年間10活動程度	

登録～認定・表彰までの流れ



認定は年度毎に行います。
翌年度も登録・認定・表彰を希望する場合は
更新手続きと実績報告が必要です。

登録申込

2年目以降は更新手続

1

- 登録申込は活動を行う年度の3月末まで受付します。
- 登録いただいた企業名は札幌市ホームページに掲載します。
- 活動予定項目等のご登録いただいた内容は札幌市役所・各区役所・まちづくりセンターへ共有させていただきます。

まちづくり活動へ参加・協力

各年度毎（4月～3月）

2

- 札幌市のまちづくり活動へ参加・協力ください。
- 登録いただいた内容に基づき、札幌市役所・各区役所・まちづくりセンターから参加・協力の依頼がある場合があります。

活動内容の報告

随時～翌年度4月末まで

3

- 活動報告書をご提出ください（別途活動状況がわかる書類を提出していただく場合もあります）。
- ご報告いただく活動は、当該年度のものであれば登録申込前の活動も対象となります。

認定

認定期間は翌年度3月末まで

4

- 活動報告書に基づき、検討委員会にて認定の可否を決定いたします。
- 各企業の活動状況は随時札幌市ホームページで紹介します。
- 「さっぽろまちづくりスマイル企業」としての基準を満たしたと検討委員会にて認められた場合は、随時認定いたします。
- 認定期間は活動を行った年度の翌年度3月末までです。
（例）2020年度に活動した場合、2021年度末（2022年3月末）まで認定します）

表彰及び認定ランクの付与

5

- 検討委員会にて表彰及び認定ランクの付与対象企業を決定します。
- 認定ランク（ゴールド企業またはシルバー企業）は付与した年度を含め3年度末までが有効期間です。
（例）2022年度に付与された場合、2024年度末（2025年3月末）まで有効
- 有効期間が経過した後においても活動状況に応じて再度認定ランクを付与します。

さっぽろまちづくりスマイル企業認定制度ホームページ

<https://www.city.sapporo.jp/shimin/support/csr/smile/> さっぽろスマイル企業 検索

認定企業一覧



	企業名	主な活動実績
1	荒井建設株式会社 札幌支店	地域の防犯パトロール、中学校周辺の清掃活動や交通安全街頭啓発、防災用小型ライトの備蓄、社屋前の消火栓の除雪、砂まき活動など
2	勇建設株式会社	会社周辺及び大通公園などの清掃活動、勇建設コミュニティガーデンプロジェクトの実施、さっぽろ雪まつり大雪像製作ボランティア、地域のお祭りへの協力など
3	株式会社札幌ドーム	地域のイベントや町内会への協力、施設を活用したイベントや環境啓発事業の実施、養護施設の児童をスポーツの試合に招待など
4	株式会社札幌ロードメイク	街頭での交通安全啓蒙活動、事務所周辺の清掃活動、公園ボランティアや除雪ボランティアの実施、地域の植花活動への参加など
5	新太平洋建設株式会社	創成川やテレビ塔周辺などの清掃活動、交通安全街頭啓発への参加、中学校の樹木剪定、町内会のイベントへの協力、職場体験の受け入れなど
6	杉原建設株式会社	東区内の公園への電波時計の寄贈及び設置、リサイクル品を活用して区役所や市内の病院に椅子を寄贈、地域のイベントへの協力、除雪や排雪ボランティアの実施など
7	株式会社セイショウ	事業所周辺及び地域の消火栓・ゴミステーションの清掃・除雪、福祉除雪協力、震災時における地域住民への水道・電気の提供及び飲料の無償配布、防犯パトロールなど
8	株式会社セブン・イレブン・ ジャパン 北海道ゾーン	高齢者の見守り活動や地域の防犯活動、市内で開催される観光やイベントのPR活動、砂まき活動など
9	SOMPOひまわり生命保険株式会社 北海道統括部	市民に対する生活習慣病の予防や認知症に関する啓発活動、自社アプリを活用した市民のウォーキング促進、市民活動団体の健康づくり事業への支援、砂箱の設置など
10	Onido 大同舗道株式会社	道路・公園・緑地等での清掃活動、砂まき活動、高齢者宅や中学校の通学路等での除雪ボランティア、福祉施設での支援活動など
11	株式会社田中組	交通遺児に対する寄付活動やミニさっぽろへの出展、小学校でのボランティア活動、地域のイベントやさっぽろ雪まつりへの参加・協力、道路の清掃活動など
12	株式会社ツクイ	地域の介護予防センターでの、介護予防や認知症予防に関する講習会・体力測定会・認知症予防体操の実施・区の特健診への協力など
13	橋本電気工事株式会社	事業所周辺や公園・河川の清掃活動、AEDの設置、札幌市や東区が実施する防災訓練に参加、消防団協力事業所として活動、冬期間砂箱の設置、職場体験の受け入れなど
14	株式会社ふじ研究所	地域イベントの設営・運営に協力、豊平川河川敷の清掃、社会福祉施設への支援、インターンシップや職場見学の受け入れなど
15	北土建設株式会社	地域イベントへの参加・協力、小学校のグラウンド整備、清掃活動や交通安全啓発、除雪ボランティア、防犯活動、高校生・専門学生の職場体験受け入れなど
16	北海道コカ・コーラ ボトリング株式会社	地域イベントへの場所の提供、地域の大学等と連携した除雪ボランティア、各区防災訓練への参加、植花・清掃活動、小学校や大学等と連携した環境教育など
17	丸彦渡辺建設株式会社	地域の清掃活動、砂箱の設置や砂まき活動、植花、小学校の環境整備、社屋1階ロビーにて美術展やミニコンサート等の開催、大学への講師派遣など
18	マルミプラス株式会社	除雪ボランティアや会社前の消火栓除雪、大通公園花壇での花苗の移植及び維持管理、防災訓練への参加など
19	ムトウ建設工業株式会社	白石区役所や地域の企業と連携した地域イベントの運営協力・地域の清掃活動、交通安全街頭啓発、防災訓練等への参加や除雪ボランティア、地域活動・団体への寄付など

(2020年1月末時点)